

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動及び部活動・生徒会活動等を充実し、生徒の満足度を高める。 ・課題設定や実証的な情報収集など、探究活動のスキル指導の充実を図る。 ・年に2回(7月、10月)、外部講師を招いた「イノベータ講演会」を開催し、意欲の向上を図る。 ・Oxbridge研修参加者の体験をさまざまな機会に共有させるよう努める。国際交流や国内・校内等での研修参加を促すよう努める。 	A	コロナ対応下で制限はあるが、可能な限り工夫して行事等の活動を実施していきたい。					
		② 「総合的な学習の時間」(3年)や「探究基礎」(1年)、「科学探究I」「探究総合」(2年)における活動を通じて自らテーマを見つけ、解決していく探究力が身についたと感じる生徒が80%以上である。		B		臨時休業による遅れもある中で、昨年度の指導実践を生かしながら、探究活動がより深く行われるよう指導法を充実させていきたい。				
		③ 「イノベータ講演会」が探究活動の充実や活動意欲の向上に役立っていると感じる生徒が80%以上である。		A		7月(1年)に行ったイノベータ講演会後のアンケートで、質問力の育成に効果的であったを回答した生徒は80%いた。				
		④ Oxbridge研修やその報告会などのグローバル教育を通じて、グローバル社会での生き方や異文化に対する理解が進んだ生徒が80%以上である。(1・2年のみ)		B		昨年度同様今年度のOxbridge研修は中止となった。国際交流に関する研修の機会を計画し、生徒向け案内の準備を行っている。生徒へのグローバル教育の流れが止まらないよう指導を行ってきたい。				
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 55分となった授業が工夫されており、授業に80%以上の生徒が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用やALの導入など、授業がより充実した双方向的な内容となるよう改善を図る。また、生徒の進路希望や適性に応じたクラス編成や授業展開を行う。 ・クラス分けの方法や時期を工夫する。 ・小集団の特性に合った授業内容・指導方法で授業を行う。 ・発問内容・方法の工夫により学習意欲の向上をはかる。 ・生徒が発表する場面を意識的に増やす。 ・授業改善推進委員会を中心に計画を立て、学年及び教科で研究授業、授業研究を実施する。 ・「土曜AL」の取組を確実に実施し、生徒への効果的周知を図る。 ・AL型授業、外部英語検定(GTEC,英検等)受験、ディベート活動等を推進し、学校全体でコミュニケーション能力を向上させる意識を持つ。 ・SS科目において教科横断学習や探究活動を行う。 ・各教科・科目の授業において探究のサイクルを回し、学習内容に対する興味・関心の高揚を図る。 ・オリエンテーション等で家庭学習の大切さの理解を徹底させ、授業と家庭学習が一体となった学習活動を展開する。 ・学校に軸足を置いた学習が受験勉強の基本であることを理解させるための仕掛けを工夫する。 ・蛟龍館自習室の拡張を図った。 ・学年と生徒指導部とが密接に連携し特活部等からの情報も共有しながら、生徒の理解を深め、早期の対応を図る。 ・学年や担任を通して家庭との連携を図りながら、自律的な生活習慣を導いていく。 ・学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校作りを行う。 ・文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取組と上位進出を促す。 ・練習計画の作成等に生徒の意見を積極的に取り入れる。 ・学校の部活動運営方針に則した活動により、生徒の学習時間を確保する。 ・行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。 	A	臨時休業による授業の遅れも解消できるよう、より工夫・改善して授業を進めていく。					
		② 英語や数学などの教科で行っている少人数授業や習熟度別授業に90%以上の生徒が満足している。		A	少人数の授業のメリットをさらに生かせるように授業内容や指導方法を検討する。					
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。		① 生徒自ら考え、発表するなど、主体的な活動を行う生徒が80%以上である。	A	授業だけでなく、探究活動の場や行事などでも主体的に活動を進めさせる。				
				② 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上と教科でも実施している。	—	臨時休業もあり実施はまだ行われていない。今後、各教科ごとに研究授業、および研修会を計画し、授業改善に向けた取り組みを行ってきたい。				
				③ 「土曜AL」の活動に参加し、主体的な学習に取り組もうとした生徒が80%以上である。(1・2年のみ)	B	生徒への「土曜AL」の趣旨の徹底と、主体的な学習に取り組むための意識付けを継続していく。				
				④ 英語等によるコミュニケーション能力が向上していると感じる生徒が80%以上である。	A	AL型授業等の指導をさらに推進し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ってきたい。				
		4 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 各教科・科目で「探究的な学び」を取り入れた授業を行い、学習内容がより深く理解できたと感じる生徒が80%以上である。	B	臨時休業による授業時数削減のため、授業進度が急がれる中、授業での探究活動については指導法の工夫を重ね、学習内容を主体的に学ぶ場面を増やしていきたい。			
					① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	B	通常登校再開直後の6月に全学年で学習時間調査を実施。臨時休業の影響が心配されたが、例年をやや上回る結果が出た。			
	② 学校内での朝学習や放課後の自習室利用など、校内での主体的な学習に取り組む生徒が70%以上である。		B		2学期より蛟龍館1階食堂を1・2年生の学習室として開放。2階ととも座席を間引いて配置。3密回避とのバランスが難しい。					
	III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。		5 組織的・継続的な指導を行っていますか。		① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	B	生徒指導部会議において、定例会議を持つことができないが、教育相談係との情報共有を行ったり、回覧を利用するなど情報共有を行えた。			
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。		① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。また、欠席率は1%以内(3年生は2%以内)である。	A	毎朝正門指導を行い、始業合図5分前登校を促し登校時指導を行うことができた。				
			② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	A	定期戦に向け活動しやすくするため、活動後の授業時の服装において柔軟に対応するなど学年と特活部との連携を図ることができた。					
		7 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	6 生徒が健康的で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 部活動に実人数で95%以上の生徒が加入している。また、関東大会以上に出場する部活動5つ以上を目指す。	A	臨時休業中に部活動紹介動画を作成し、オンラインで1年生に向けて配信した。学校再開後は迅速に部活動編成をすることができた。引き続き活発に活動できるよう援助していきたい。				
				② 部活動が生徒の主体性を生かし、メリハリのある活動の中で充実していると感じている生徒が90%以上である。	B	感染防止対策などの安全面を考慮した活動計画を各部で生徒に考えさせる。				
				③ 部活動に取り組む生徒のうち、文武両道を実践していると感じている生徒が70%以上である。	B	練習計画の振り返りから、各部での学習時間確保の工夫がなされているか確認する機会を作る。				
				④ 定期戦及び優曇華をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、自主的・主体的に取り組めた生徒が80%以上である。	A	優曇華は実行委員会での話し合いの上中止となった。定期戦は感染防止対策を優先事項として実行委員中心で運営する。				

(様式1)

※()は関連したアンケート項目に対する評価

No. 2

羅 針 盤		
評価対象	評価項目	具体的数値項目
	8 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	① 本校の「スマホ利用ルール」を理解し、それに従った生活ができている生徒が80%以上である。 ② 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると考えている生徒が90%以上である。
	9 読書指導が行われていますか。	① 学校図書館の貸出冊数が7,000冊を超えている。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施し、80%以上の生徒が進路選択の参考になると認識している。
		② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。
		③ 大学・企業・研究所研修、インターンシップ等のキャリア教育行事に満足している生徒が80%以上である。
11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。		① 早朝補習や長期休業中の補習授業が、進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が80%以上である。
		② 夏季休業中の学習合宿に参加した生徒のうち、学習合宿が進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が90%以上である。
		③ 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	① 「前高Web page」の内容について、満足している保護者が90%以上である。
		② 学校通信「前高通信」などによる学校からの情報提供に満足している生徒・保護者が90%以上である。
	13 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。
	14 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、自転車事故15件以下を目指して指導する。
② 自転車事故減少に向けた交通安全教室や諸注意を受け、交通マナー・規則遵守の精神で自転車運転を行っている生徒が90%以上である。		
15 環境面で生徒の安全が確保されていますか。		① 災害発生時に適切な行動をとることができると自覚している生徒が90%以上である。
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	16 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。

方 策
・ホームルームや学年集会、講話等の機会を捉え、指導を徹底する。
・人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで計画的・組織的に行う。
・国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。
・進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。
・これまでの指導のノウハウを継承しながら、さまざまな場面で資料を有効活用する。
・生徒の進路意識・職業意識を高める進路行事を進路指導部・探究部と学年が連携して計画・立案し、実施する。
・生徒の実態に応じて作成する年間指導計画に基づいて実施する。
・前年度までの総括をもとに、学習合宿実施の意義に見合った時期・場所・内容等の検討を行う。
・納得のいく進路選択ができるよう適切な情報を提供するとともに、同じ志を持つ生徒同士の相互作用をうまく誘導する。
・学校行事等の記事など、新しい情報を頻繁に発信する。部活動の顧問にWebページの更新を促す。
・行事ごとの記録や、各分掌・学年・部活動の情報収集を行い、年間6号の発刊を行う。
・PTA・母の会等との連携を密にして、講師の選定を行う。PTA新聞作成に当たり、保護者役員の制作活動や情報収集をサポートする。
・交通法規やマナーの徹底に加え、余裕を持った早朝登校や、大通りを利用した通学など、事故に遭いにくい通学を促す。
・交通安全教室の形態・指導内容等を高校生に合ったものになるように工夫する。
・毎月安全点検を実施し、施設的に問題の改善に努める。
・他分掌と連携し、水害時の緊急時使用マニュアルを作成する。
・年2回の防災避難訓練の実施と、浸水時を含めた防災マニュアルの周知により、災害発生時に職員・生徒が適切な対応ができるようにする。
・保健委員会活動(保健だより等)により、感染症・健康に関する情報を発信する。

第1回点検・評価		第2回点検・評価	
自己評価	外部アンケート等	自己評価	外部アンケート等
B			
A			
A			
B			
A			
B			
A			
—			
未			
A			
A			
A			
A			
B			
B			
A			

・新型コロナウイルスに係る長期の臨時休業により十分な教育活動が行えなかったため、外部評価は行っていない。